

奥出雲病院の分娩の取り扱い休止（令和3年3月から）と今後の産婦人科外来について

分娩の安全確保のため、分娩取扱医療機関においては複数名の産科医体制が全国的に標準とされています。当院においては、この体制確保が困難な状況であり、妊産婦さんや赤ちゃんの安全を第一に考え、令和3年3月よりやむなく分娩を休止することとしました。分娩休止に先立っては、分娩を控える妊産婦さんにご迷惑にならないよう昨年の町広報8月号及び9月号や当院ホームページで広くお知らせしております。町民の皆さまや里帰り分娩を希望される方々には大変ご不便とご迷惑をお掛けすることとなりますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、今後の産婦人科外来の対応については下記のとおりです。

- ①産婦人科外来では妊婦健診や産後健診、乳腺炎、婦人科疾患の診療を引き続き行います。
- ②令和3年3月以降の分娩については、妊娠後期に妊産婦さんと相談のうえ、他の医療機関を紹介します。
- ③助産師外来（妊婦健診、育児相談）を引き続き行い、妊産婦さんの悩みや心配ごとの相談を伺います。



【お問い合わせ】町立奥出雲病院 有線:31-5700 電話:54-1122(代)

マイナンバーカードの休日交付のご案内

マイナンバーカードを申請し、町から交付通知が届いている方を対象に、休日交付を行っています。今年度までは毎月1回、日曜日に行っていましたが、令和3年度からは毎月2回行います。お仕事等で平日の開庁時間内にお越しになることが困難な方はぜひご利用ください。なお、混雑緩和、持ち物確認等のため、事前の予約制となっています。前々日の13:30までに予約の電話を必ずお願いします。(当日予約不可)

●実施日

毎月2回、日曜日に実施します。時間は9:00~12:00です。

令和3年4月	11日、25日	10月	10日、24日
5月	9日、23日	11月	14日、28日
6月	13日、27日	12月	12日、26日
7月	11日、25日	令和4年1月	9日、23日
8月	8日、29日	2月	13日、27日
9月	12日、26日	3月	6日、13日



●交付場所及び予約先

町民課（役場仁多庁舎） 有線：31-5103 電話：54-2510

●必要書類

①交付通知書（ハガキ） ②通知カード（お持ちの方のみ） ③住民基本台帳カード（お持ちの方のみ）

④本人確認書類

- ・1点で確認できるもの（官公庁が発行したもので、顔写真付きのもの）
運転免許証、パスポート、在留カード、身体障害者手帳等
- ・2点必要なもの（「氏名+住所」または「氏名+生年月日」が記載されたもの）
健康保険証、介護保険者証、学生証、各種医療受給者証、年金手帳、年金証書等

※15歳未満の方は、法定代理人の方と一緒に来庁してください。本人及び法定代理人の方の本人確認書類が必要です。

今年で3年目!! 地域づくりアクション発表会R3（前編）

「今年で3年目!! 地域づくりアクション発表会R3」が2月7日に、カルチャープラザ仁多で開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、活動が計画通りに進まない中、小さな拠点づくりに取り組む7地区の皆さんが、感染の防止対策を行いながら今年度実施した取り組みや来年度の取り組みについて発表されました。前編では4地区の発表の一部を紹介します。後編は広報奥出雲4月号に掲載します。

<鳥上地区>

【R2年度の取り組み】

観光資源を活用した「まるごと鳥上を売り出す作戦!」として「斐乃上荘湯快祭」を実施。地区内生産者による新鮮野菜、女性グループが手作りしたこんにやく等の販売、高齢者を対象とした健康サロンや防災グッズの紹介等を行った。

【R3年度以降の取り組み】

斐乃上荘を中心として、船通山登山者やわくわくプール利用者の更なる利用を促進するため「とりかみ市場」の定期的な開催、ウォーキングやトレラン等のイベント開催、斐乃上荘周辺の遊歩道やキャンプ場などの施設整備を行っていききたい。



斐乃上荘湯快祭の様子

<三成地区>



「さんさん号」運行グッズ

【R2年度の取り組み】

- ・高齢者・交通弱者の移動手段確保のため、お試し乗合便「さんさん号」を三所地区だけでなく、高尾地区や三沢地区まで範囲を拡大し、加藤医院・奥出雲病院・サンクスを回るルートで運行。
- ・三成地区（三所・高尾を除く）の空き家調査が終了し、空き家の状況を把握。

【R3年度以降の取り組み】

10年先の未来予想図の実現に向け、事業者と共存共栄できる地域輸送活動の仕組みづくりを行いながら、ドライバーの確保や利用者登録の推進に努めていききたい。また、空き家を活用して三成地区の魅力アップを図りたい。

<三沢地区>

三沢地区防災研修会の様子▶

【R2年度の取り組み】

- ・地区のために新規活動を行う団体を助成する「みざわチャレンジ応援金」を創設し、高齢者と若者による「野菜で元気プロジェクト」や女性グループによるフリマやカフェの開催などの5つの自主的な活動が生まれた。
- ・三沢地区防災研修会を開催し、自治会の支え合いが見える化した自治会「支え愛マップ」を作成した。



【R3年度以降の取り組み】

学生や高齢者の活躍の場づくりや自治会で支え合う地域防災の仕組みをつくっていききたい。また、みざわチャレンジ応援金などにより活動が継続できる仕組みをつくっていききたい。

<阿井地区>



会議の様子

【R2年度の取り組み】

- ・2018年から小さな拠点づくりについて自治会長会にて勉強会を開始し、地域防災の体制を整備。2020年9月に本格的に活動を開始し、「防災組織づくり部会」と「くらし支援づくり部会」の2部会を設置。

【R3年度以降の取り組み】

「防災組織づくり部会」では、組織図と連絡網の実効性の検証として、防災訓練を計画。「くらし支援づくり部会」では、困りごと相談受付と実践部隊の体制を整備していききたい。